

令和 3年 7月 29日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：医療法人社団 水澄み会 グループホームもやいの家うのはな
施設種類：認知症対応型共同生活介護

利用者	人	知見を有する者等	人
利用者家族	1人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【報告内容】

1. 現況、活動状況報告

利用者様状況

- ・女性 9名の方ご利用中
- ・介護度 ①・・・4名
②・・・3名
④・・・2名
- ・平均介護度 2.0
- ・新規入居者、退去者は無し
- ・アクシデント 1件（転倒）
夜間居室内で転倒され、右大腿骨頸部骨折で救急搬送される。心不全の治療後に手術される。
- ・感染症予防について
接種証明書のコピーを家族様へ送付済。
面会については、まだ中止となっている。
朝・夕の検温や職員の出勤前・出勤時の体温確認・消毒・換気は継続中。

活動報告

- ・「7月七夕祭り」・・・作り溜めていた飾りや短冊を笹に飾り付ける。短冊には各々願いや今の思いなど書いて頂いた。
- ・季節の手仕事・・・「柏餅」「水ようかん」を手作りし味わっていただく。
- ・散歩、外歩きは時間を短くして実施。その他日課として、ラジオ体操やボール運動、器具を使った運動、塗り絵・パズル・間違い探しプリント
- ・今年度第1回目のお便り6月号を家族様に郵送。
- ・介護初任者研修実習生の受け入れ（7/14～8/18）
- ・勉強会 「認知症」、「接遇」（予定）

- ・地域の海岸清掃に1名参加（7月）

2、身体拘束等の適正化の取り組み

令和3年度 第2回 虐待防止・身体拘束廃止委員会

現状報告

- ・身体拘束を行っている事案はなし。
- ・センサーチャイム3名使用中。

自分でセンサーの位置を動かしておられた事例あり。コミュニケーションが取れない不穏状態の時に起こる傾向が見えた。

（対策）

- ・目につきにくい場所にセンサーを移動。
- ・関わる時は” ゆっくり話を聞く” 姿勢で関わる。
- ・コミュニケーションの「間」に注意を払う。何うなり決めつけた様な声掛けはしない。

これらのことに注意を払い関わることで、不穏につながることは少なくなっている。

- ・1回目 虐待自己チェック結果からの取り組み経過

目標：「短時間でも、そのひと時・その場をお客様と一緒に過ごす」

経過：お茶時間だけに限らず、いろいろな場面で着席してお話をする場面が見られる様にはなったが、常に意識し行動出来ているところまでにはなっていないため、会議の中でさらに意識されるよう促していきたい。

3、行政から

- ・暑さ対策を職員の方も注意してください。
- ・食中毒への警戒もお願いします。メール発信もされています。
- ・介護お助け隊の取り組みについて

（地域の方・家族様から）

面会が出来ないというのはさみしい事ではあるが。

施設内でオンラインの面会をしているところもあるが、それもまどろっこしいようにも感じる。

（ホーム）

ワクチン接種は終わったが100%防げるものではない。現在も都心部で急激な広がりが報道でれている。万一感染が広がった時の対応が難しくなることを考えると、まだしばらくは協力をお願いします。

以上